

第2回学校関係者評価委員会報告書

学校法人国際ビジネス学院
国際調理専門学校

学校法人国際ビジネス学院 国際調理専門学校の「令和3年度自己評価点検報告書」に基づいて、学校関係者評価を実施しましたので、以下の通り報告いたします。

記

開催日時：2023(令和5)年3月30日(木) 17:00~18:00

開催場所：白山キャンパス1号館 会議室

1. 学校関係者評価委員

<出席委員>

- ・脇田 義継 氏 (日本回転ずし協会 会員) : 関連団体委員
- ・開田 晶 氏 (エムアンドケイ株式会社) : 関連企業委員
- ・加藤 高聖 (株式会社ぶどうの木)
- ・平石 聖人 氏 (株式会社つば甚) : 卒業生委員

<本校職員>

- ・本校教職員 : 清川 裕、板坂 剛、小嶋 晋之介、
- ・司 会 : 小嶋 晋之介
- ・議事録作成 : 新谷 咲子

2. 学校からの報告事項：前回までの取り組みについての報告を行なった。

①入学者の推移

資料に基づき、入学希望者数の推移について報告

【意見など】

- ・1年制が増え、2年制が減った。
- ・富山からの入学者数増えている。
- ・2年制の入学生を再度増やす対策が必要。

②退学者の推移

資料に基づき、退学者数の推移について報告

【意見など】

- ・特に多かったわけではない。

③就職状況(内定状況)

資料に基づき、就職状況(内定状況)について報告

【意見など】

- ・ 募集状況は、コロナ前と同じ水準
- ・ 今年度は個人の動き始めが遅かったので次年度は早く動けるように指導していく。
- ・ 実践教育を主軸にして就職につなげていきたい

3. 自己点検評価報告書の評価項目ごとの評価・意見等

項目	評価・意見等
1 教育理念・目的・ビジョン	特になし
2 学校運営	特になし
3 教育活動	<p>GE の運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月にオープン以降、コロナによる規制等が緩和され、今年度より1年生にミールクーポンを配布していることもあり、利用者が増えていたが、後期は少し利用者が減った。物価高の影響もあり次年度価格の値上げを検討。 <p>他校のインターンシップの受け入れ等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月より3、4日間ほど実施しており、次回に向けてどうしていくかが課題となっている ・ 年々学生の就職活動の時期が遅くなっている、男性がメンタル等において、少し弱くなっている傾向がある <p>最近の就職状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職先が県外よりも県内志向となっており、コロナの影響が考えられるが、都会や世界で活躍できる人材を育成していきたいと考えている ・ 在学中は、優秀であっても就職するとすぐやめてしまう
4 教育成果	特になし
5 学生支援	特になし
6 教育環境	特になし
7 学生の募集と受け入れ	<p>1年制過程の募集について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会人が入学する目的を明確にして、調理師免許の取得可能なことや車で通学可能等のメリットを伝えていく ・ 卒業後の実績を作ってアピールをしていけるといいのではないか <p>2年生過程の減少は家計も関係している可能性もあるので免除制度等も再検討の必要がある。</p>

	オープンキャンパスに来てくれれば入学希望になる可能性が高いのでガイダンス等に力を入れ動員を増やす。
8 教職員組織	特になし
9 社会貢献	特になし

第1回学校関係者評価委員会報告書

学校法人国際ビジネス学院
国際調理専門学校

学校法人国際ビジネス学院 国際調理専門学校の「令和3年度自己評価点検報告書」に基づいて、学校関係者評価を実施しましたので、以下の通り報告いたします。

記

開催日時：2022(令和4)年8月25日(木) 17:00~18:00

開催場所：白山キャンパス1号館 会議室

1. 学校関係者評価委員

<出席委員>

- ・脇田 義継 氏 (日本回転ずし協会 会員) : 関連団体委員
- ・開田 晶 氏 (エムアンドケイ株式会社) : 関連企業委員
- ・加藤 高聖 (株式会社ぶどうの木)

<本校職員>

- ・本校教職員 : 清川 裕、板坂 剛、小嶋 晋之介、
- ・司 会 : 小嶋 晋之介
- ・議事録作成 : 村田 美希

<欠席>

- ・平石 聖人 氏 (株式会社つば甚) : 卒業生委員

2. 学校からの報告事項：前回までの取り組みについての報告を行なった。

①入学者の推移

資料に基づき、入学希望者数の推移について報告

【意見など】

- ・1年制、2年制ともにだんだん入学者数が増えている。
- ・富山・石川の入学者数も変わらず増えている。
- ・1年制課程の入学者数は伸びてきているが、引き続き対策が必要

②退学者の推移

資料に基づき、退学者数の推移について報告

【意見など】

- ・ 8%から年々減っており、昨年度は0%であった。

③就職状況(内定状況)

資料に基づき、就職状況(内定状況)について報告

【意見など】

- ・ 募集状況は、コロナ前と同じ水準
- ・ 実践教育を主軸にして就職につなげていきたい

3. 自己点検評価報告書の評価項目ごとの評価・意見等

項目	評価・意見等
1 教育理念・目的・ビジョン	特になし
2 学校運営	特になし
3 教育活動	<p>GEの運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月にオープン以降、コロナによる規制等が緩和され、今年度より1年生にミールクーポンを配布していることもあり、利用者が増えている ・ 学生もやりがいをもって取り組んでおり、課題が多々あるが、検討しながら後期に向けて取り組んでいく。 <p>他校のインターンシップの受け入れ等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月より3、4日間ほど実施しており、次回に向けてどうしていくかが課題となっている ・ 年々学生の就職活動の時期が遅くなっている、男性がメンタル等において、少し弱くなっている傾向がある <p>最近の就職状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職先が県外よりも県内志向となっており、コロナの影響が考えられるが、都会や世界で活躍できる人材を育成していきたいと考えている ・ 関西以外はホール以外、就職者は少なく、金沢は交通の便が悪く希望者が少ない ・ 在学中は、優秀であっても就職するとすぐやめてしまう ・ 過去には、独立を考えている学生が多く、労働時間等は特に重要視されていなかったが、最近は、労働時間等が長時間となるとマイナスとなる傾向があり、安定志向の学生が多く、給食業界を希望する学生が多い
4 教育成果	特になし
5 学生支援	企業奨学金制度について

	<ul style="list-style-type: none"> ・返済するために他の仕事をせざるを得なくなる学生のために、企業様に一部ご協力いただく制度だが、優秀でない学生は受けられない点が課題である ・奨学金対象者とする評価基準について、就職前は、どの学生も同じ水準のため、半年間から1年間の期間を経て決定することも可能である ・奨学金制度の利用について、他校出身者と差が出てくるため、あまり口外できない ・企業と学校側でwin-winとなる制度に改善していけるよう検討していきたい ・就職後にすぐに辞めてしまう学生に就職前に現場の課題等について考える機会を与えて離職率を防ぐ
6 教育環境	特になし
7 学生の募集と受け入れ	<p>1年制過程の募集について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人が入学する目的を明確にして、調理師免許の取得可能なことや車で通学可能等のメリットを伝えていく ・卒業後の実績を作ってアピールをしていけるといいのではないか
8 教職員組織	特になし
9 社会貢献	特になし